

トウキョウXの凍結受精卵による子豚出産に成功、明大開発で

明治大学バイオリソース研究国際クラスターは26日、(財)東京都農林水産振興財団・東京都農林水産総合研究センターとの共同研究で、トウキョウXの凍結受精卵による子豚の出産に初めて成功したと発表した。豚の受精卵の凍結保存は困難を要する技術で、「研究の成功で今後トウキョウXの優良遺伝子の半永久的な保存が可能になる」と期待される。今回の研究はホルモン処理で排卵誘起したトウキョウXの雌を同系統の雄と交配、3〜4日後に受精卵の受精卵を採取して約1カ月間凍結保存した。凍結保存には明大が開発した「中空系ガラス化凍結法」と呼ばれる手法を用いた。その後、凍結受精卵25個を融解し、昨年9月18日に別の雌に移植、今年1月7日に計8頭の子豚が誕生した。トウキョウXのような優良家畜資源を半永久的に維持し、有効活用するためにも凍結保存が効果的で、今後は他品種への活用も期待されている。

T O K Y O O X 使用の豚重発売、都内のサークルKサンクスで

サークルKサンクスは2月9日から「T O K Y O O X」を食材に使用した弁当を東京都内と千葉、埼玉の一部地域のサークルKとサンクス計777店舗で数量限定販売する。「T O K Y O O X」を使用した弁当を発売するのはコンビニエンスストアとしては初。今回は「T O K Y O O X 豚重」、「T O K Y O O X 豚焼肉重」(各550円)の2アイテムを投入し、今後は「T O K Y O O X」を使用したおにぎりの販売も予定している。「T O K Y O O X 豚重」はロース肉の生姜焼き、バラ肉の塩カルビを麦飯の上に盛り付けた薄めの味付けでさっぱりとした脂身を楽しめる商品で約1万5千食を販売。また同焼肉重はヒレ、ウデ、モモ肉を使用し、薄めの醤油ベースのタレで味付けし、約3万8千食の販売を計画している。

J R 東日本が紀伊國屋グループ買収、流通事業を強化

東日本旅客鉄道(以下、JR東日本)は26日、首都圏で高級スーパーを展開する紀伊國屋グループの株式を取得することを発表した。株式取得は4月1日を予定し、紀ノ国屋グループの現株主の下で合併した上で、合併新会社の発行済株式のすべてをJR東日本が主要株主から取得する。JR東日本では2017年度までに運輸業以外の営業収益を全営業収益の4割程度まで引き上げるとしており、今回の買収により流通事業に本格参入する。日本で最初のスーパーマーケットである紀伊國屋はグループ3社で17店舗を展開。紀伊國屋の生産者ネットワークや仕入機能と、1日約1680万人の集客力、鉄道ネットワークを相互活用することで首都圏を中心にエキナカ、駅ビルの事業開発を積極化させる。